

追求課題：「だって、ぼくが、きみにお手紙出したんだもの。」

大問題：なぜ、かえるくんは、じ分ががまくんにお手紙を出したことを言ったのか

- ① さくせん（言おうと思って言った）
- ② つい言ってしまった（言おうと思っていなかったのに、つい言ってしまった）

大問題解決のための問題作り

- ・「かえるくん、どうして、きみ、ずっと、まどの外を見ているの。」→おこっていたがまくんが、なぜ、こんなふうになぜしたのか？
- ・「だって、今、ぼく、お手紙をまっているんだもの。」→かえるくんが、こんなことを言ったのは、なぜ？
- ・「でも、来やしないよ。」→がまくんのこのことばを聞いて、かえるくんはどう思ったか

問題1：おこっていたがまくんが、かえるくんがずっとまどの外を見ている理由をたずねたのは、なぜ？

問題2：かえるくんがまどの外をずっと見ていたのは、1～3回目のとき全部なのか、3回目だけなのか？

問題3：「ずっと」とは、どれくらいか？

おこっていたことを忘れておかしいと思うぐらい、かえるくんが長い間、まどの外を見ていた

問題4：かえるくんが「だって、今、ぼく、お手紙をまっているんだもの。」と言ったのは、なぜか？

問題5：がまくんが「かえるくん、どうして、きみ、ずっと、まどの外を見ているの？」と言った時、かえるくんは、どんな気持ちだったか？

今までおこっていたがまくんが、自分の方に向いてくれたと思ひ、かえるくんは期待した。

問題6：「でも、来やしないよ。」というがまくんのことばを聞いて、かえるくんは、どう思ったか？

どん底につきおとされそうになり、その事態をくいとめようとして、「きっと来るよ。」「だって・・・」と言ってしまった。

追求課題の解決

言おうとは思っていなかったのに、がまくんの言動により、つい、言ってしまうことになった。